

平成29年度
第1回 苫小牧市航空機騒音対策協議会
会議録

平成29年5月22日（月）

午後6時30分

リサイクルプラザ苫小牧 2階会議室

会 議 次 第

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 副市長挨拶
- 4 委員及び事務局紹介
- 5 正副会長選出
- 6 会長挨拶
- 7 議 題

(1) 報告事項

- | | |
|---------------------------------|--------|
| ア 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する報告について | 【資料 1】 |
| イ 平成 28 年度航空機騒音測定結果について | 【資料 2】 |
| ウ 空港融雪剤に係る平成 28 年度美沢川水質測定結果について | 【資料 3】 |
| エ 防衛局関係の助成事業実施状況について | 【資料 4】 |
| オ 他基地における訓練移転実施状況について | 【資料 5】 |
| カ 平成 29 年度における米軍再編に係る訓練移転について | 【資料 6】 |
| キ 平成 28 年度（下期）航空機の部品落下事案について | 【資料 7】 |
| ク 平成 28 年度再編交付金事業結果について | 【資料 8】 |
| ケ 北海道における空港経営改革について | 【資料 9】 |

(2) 協議事項

- | | |
|---------------------------------|--------|
| ア 平成29年度要望活動（案）について | 【資料10】 |
| イ 平成29年度再編関連訓練移転等交付金予定事業（案）について | 【資料11】 |

- 8 その他

○ 協議会委員 ※敬称略

出席者 (10名)

会長	丹羽 秀則	委員	小倉 巖	委員	牧田 俊之
副会長	星野 邦夫	〃	星 孝二	〃	山崎 洋一
委員	丹治 秀一	〃	小倉 正哉		
〃	丹治 秀寛	〃	佐野 輝幸		

欠席者 (9名)

副会長	丹治 敏男	委員	山端 豊城	委員	三海 幸彦
委員	松重 茂雄	〃	星野 岳夫	〃	石原 幸雄
〃	広瀬 悦雄	〃	竹田 秀泰	〃	亀谷 秀雄

○ 事務局 出席者 (13名)

副市長		佐々木 昭彦	環境衛生部	部長	西田 浩一
総合政策部	部長	福原 功	〃	次長	入谷 核
まちづくり推進室	室長	小名 智明	環境保全課	課長	深山 満展
空港政策課	課長	柴田 健太郎	〃	課長補佐	佐藤 紳
〃	主査	小堀 綾子	〃	主査	櫻井 理博
〃	主査	銅 真	〃	技師	下間 美宥
〃	主査	込山 寿明			

平成29年度 第1回苫小牧市航空機騒音対策協議会 会議録

1 開会

◇事務局

それでは定刻となりましたので、只今から平成29年度第1回苫小牧市航空機騒音対策協議会を開催いたします。

私は、事務局を担当しております総合政策部空港政策課長の柴田でございます。よろしくお願いいたします。

2 委嘱状交付

◇事務局

はじめに、今回、本協議会委員の改選を迎え、各町内会からのご推薦をもとに、新しい委員が決まりましたので、委嘱状を交付いたします。

佐々木副市長から委嘱状を交付いたしますので、委員の皆様はその場でお待ちいただき、お名前を呼ばれましたらご起立の上、委嘱状をお受け取りください。

(委嘱状交付)

3 副市長挨拶

◇副市長

皆様今晚は、副市長の佐々木でございます。

本日は、大変それぞれお忙しい中またお疲れのところお集まりをいただきまして、ありがとうございます。今、皆様方には2年間勤めていただきます騒音対策協議会の委員の委嘱状を交付させていただきました、よろしくお願いいたします。

本日の議題については、恒例でございますけれども昨年度の航空機騒音測定結果の報告、それから防衛局の助成事業関係、それから訓練移転などについての報告をさせていただき予定でございます。

また、協議事項は今年の要望活動、それから米軍再編に係る訓練移転の交付金について、我々の原案についてご審議を賜りたいと考えてございます。

ご存知のとおり、10年間の時限立法でございました再編交付金が皆様方のご協力、それからご要請活動、そういったもののおかげで10年間の延長ということになりまして、平成39年の3月31日までということになりました。今年度については2億2千万円というものが確定をしております。今日はこの再編交付金の使い方等についても皆様のご意見をいただきたいなと思っております。

今年度の、訓練移転計画でございますけれども、詳しくはまだ示されてはおりませんが、だいたい例年通り、全国各地の基地で行われるというような通知が参っております。また、その節にはご迷惑をおかけしますが、皆様方のご協力のもとに進めさせていただきたいと思っております。

最後になりますけれども、これから2年間、皆様方には大変ご苦勞をおかけするということになりますけれども、ご協力、それからご理解を賜りますようお願いを申し上げまして、簡単ではございますけれどもご挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願いいたします。

4 委員及び事務局紹介

◇事務局

この後につきましては、座って進めさせていただきます。

それでは、今回初めての委員さんもおられますので、A委員さんから順次、自己紹介のほうをお願いしたいと思います、よろしくお願いいたします。

— 委員順次自己紹介 —

ありがとうございました。

続きまして、4月の人事異動で事務局にも異動がございましたので、事務局員をご紹介します。

総合政策部長の福原でございます。(福原：よろしくお願いいたします。)

総合政策部まちづくり推進室長の小名でございます。(小名：よろしくお願いいたします。)

環境衛生部環境保全課長の深山でございます。(深山：よろしくお願いいたします。)

環境衛生部環境保全課長補佐の佐藤でございます。(佐藤：よろしくお願いいたします。)

その他事務局としまして、空港政策課及び環境保全課の職員が出席しておりますのでよろしくお願いいたします。

5 正副会長選出

◇事務局

次に、正・副会長の選出についてでございますが、協議会の規約では、協議会に会長1名及び副会長2名を置き、委員の互選により選出することとなっております。

正副会長の選出についていかがいたしましょうか。

◆B委員

留任をお願いします。

◇事務局

只今、「留任」とのお声を頂きましたけれども、これまでに引続いて、会長には丹羽委員、副会長には丹治敏男委員、星野邦夫委員にお願いしたいと考えておりますけれども、いかがいたしましょうか。

◆委員一同

異議なし

◇事務局

ありがとうございます。それでは引き続きまして、会長には丹羽委員、副会長には丹治敏男委員、星野邦夫委員にお願いいたします。よろしくお願いいたします。それでは、こちらに会長の席を用意しておりますので、丹羽会長は移動をお願いいたします。

— 移動 —

6 会長挨拶

◇事務局

それでは、協議会開催に先立ちまして、丹羽会長から一言、ご挨拶をいただきたいと思っております。

◆会長

丹羽でございます。再度やってくれという事でございますので、2年間しっかりと勤めさせていただきますと思っております。いま、副市長さんからお話ございましたけれども、米軍再編対策費これの10年間延長と予算的には少し少なくなるというか。それにしましても今年度は2億なにがし付いたということで、非常に今まで特定財源として大変大事に使わせていただいて、植苗地区は特に代表的なのは「とこバス」をやりまして、これの運行費も付けさせていただいて、うちの年上の方は非常に喜んでいただいております。その他、各地区もそれぞれ大事に使わせていただきまして大変嬉しく思っているところでございます。そういうことで色々ございますけれども、これは沖縄の再編対策費で今度名前が変わるようでございますけれども、ちょうど沖縄返還から45年になるということでございまして、その前は占領下であって要するにパスポートがないと日本人であっても行けなかった。いかに敗戦が悲しいことになるかということでございまして、その余波が今もまだ続いているということでございます。いつもの話が出ますように沖縄の負担軽減ということで、いつもその騒ぎが起きているわけでございまして、我々もそれに十分協力しながら何とかできないものかというようなことで10年経ちました。今、また他国の協議ということで沖縄の重要性もさらに増していると、こういうような状況になっているようでございますが、同じ日本国民として、私もいつも何とかならないものかというふうには思っているところでございます。そういった中、また延長していただいご協力するというような格好になろうかなと。特に直下の皆様におかれましては色々障害のないように、しっかりと見ていかなければいけないということは声を大にして申し上げなければいけないと思っているところでございます。その他に沢山今日は議題がございまして、一瀉千里になるかもわかりませんが、しっかりとお聞きいただいて、ご質問いただければと思っております。これから2年間一つよろしくお願いいたします。以上でございます。

7 議題

(1) 報告事項

◇事務局

ありがとうございます。次に、配布資料の確認をさせていただきます。

配布資料につきましては、資料1～11を事前に配布させていただいておりますが、ご確認をお願いいたします。配布漏れなどがございましたら、お知らせいただきたいと思います。

それでは、これからの議事進行につきましては、協議会規約に基づき、会長が議長として進めさせていただきます。なお、議事録作成の関係上、発言に際しましてはマイクのご使用をお願いいたします。また、マイク使用後はスイッチをお切りくださいますようよろしくお願いいたします。

それでは、会長、よろしくお願いいたします。

◆会長

それでは、早速、議事に入らせていただきます。今日は出席の方が少ないようでございますけれども、特に定数というのはございませんで、出席の中で始まるということになっております。そうですよね。そういうことでご了承願いたいと思います。時間は8時を目途として進めてまいりたいと思いますので、円滑なご協力をお願いいたします。

それでは(1)報告事項アからケまで一括して事務局よりご説明をお願いいたします。

ア 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する報告について

◇空港政策課

空港政策課の銅と申します、よろしくお願いいいたします。座って説明させていただきます。早速ですが（１）報告事項アの「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する報告について」の１ページと２ページについて、ご説明いたします。

資料１をご覧願います。資料１は、既に参考資料として配布させていただいております、「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する報告書」の一部を抜粋したものでございます。

まず１ページ目には、訓練の実施内容を記載しております。今回は、岩国飛行場から千歳基地への訓練移転で、１２月５日から１６日までの間、訓練は９回実施されており、米軍のＡＶ８Ｂ及び第２航空団のＦ－１５が各４機、人員約９０名程度の参加となりました。

下から２段目の「米軍人外出状況」でございしますが、「千歳市内への外出はあった」と聞いております。また、訓練期間中の事件・事故等については、「米軍人がレンタカーで外出の際、接触事故が１件あった」との報告を受けておりますが、訓練としては、無事終了したところでございます。

次に２ページ目の「訓練期間中の苦情・問い合わせ結果等について」でございしますが、この度の訓練期間中における苦情はなく、問い合わせに関して苫小牧市に３件、現地連絡本部に１件でございします。

◇環境保全課

環境保全課の櫻井でございます、私から資料１の只今の続きと、資料２について説明させていただきます。座って説明させていただきます。

早速ですけれども、４ページ目をお願いいたします。こちらは訓練移転に伴う騒音測定地点でございしますが、今回もこれまでと同様の地点、計２１カ所で測定を行いました。

次に、５ページ目の騒音測定結果でございしますが、こちらには苫小牧市、北海道、防衛省の測定から得られました最高値を掲載しております。訓練期間中の最高値は清流公園で観測されました米軍機の８８．７dBでありまして、自衛隊機Ｆ－１５につきましては、沼ノ端局で観測した８７．７dBでございました。いずれの値もこれまでの訓練移転の最高値よりも低い値でございました。

次に、６ページ目をお願いいたします。こちらは訓練期間中の日ごとのLden値を範囲で記載したものと、平成２８年度の４月～１２月までのLden値の日最大値を示しております。

４月～１２月の値は、自衛隊機と民航機をあわせた値となっております。訓練期間中で最も大きかった値は、太枠で囲んであります６１dBでしたが、局ごとに比較しましても同等または下回っている結果となっております。

７ページ目には、以上の結果を踏まえた「評価」としまして、今回の訓練移転における騒音につきましては、騒音値及び日Lden値からみましても、第２航空団が行っている通常訓練の範囲内であったという結果としております。訓練移転に伴う騒音測定結果の説明は以上となります。

イ 平成 28 年度航空機騒音測定結果について

◇環境保全課

引き続きまして「資料２」について、ご説明させていただきます。「資料２」の、２ページをお願いいたします。こちらには、市内に配置の航空機騒音常時測定局の位置を示しております。苫

小牧市、北海道合わせて 14 局の測定体制となっております。

3 ページ目をお願いいたします。こちらは、「平成 28 年度の航空機騒音測定結果」でございます。表のマス内上段には年間総数、下段には 1 日あたりの発生回数を示しております。一番右の欄に各局の Lden 値を掲載しておりますが、環境基準値の 62dB に対しまして、各局で基準値未満という状況になっております。

4 ページ目をお願いいたします。こちらは 22 時から翌朝 7 時までの、自粛時間帯に飛行した機数を種類別に集計したものでございます。

「1 の民間航空機」でございますが、こちらは、「24 時間運用に係る深夜早朝便」以外のものを集計しております。平成 28 年度は計 423 便で、前年度よりも 69 便増加しております。

詳細につきましては、5 ページから 27 ページにかけて、資料を添付しておりますが、毎月委員の皆様へ送付しておりますので、こちらの説明は割愛させていただきます。

次に「2 の自衛隊機等」でございますが、こちらは平日の深夜・早朝に加え、土日・祝日の日中も含めた時間帯を対象とし、騒音観測があったものを集計しております。平成 28 年度は 72 回 118 機で、前年度よりも増加しておりました。主なものとしまして、札幌航空ページェントやスクランブル、千歳航空祭などによるものがありました。

「3 の海上保安庁」につきましては、平成 28 年度は 23 機で、前年度よりも 11 機増加しておりますが、海上保安業務の哨戒・パトロールや救難捜索等の任務飛行によるものということで伺っております。

次にページが飛びまして、28 ページをお願いいたします。こちらには、自粛時間飛行が多かった便、10 回以上遅延した便をリストにしたものでございます。エアラインごとにみますと、JAL が前年よりも 73 回遅延が増加しまして、次にエア・ドゥの 11 回増となっております。

29 ページをお願いいたします。こちらは平成 28 年度 95dB 以上の騒音発生回数について掲載しております。上段は測定局ごとの発生回数とその内訳を示したものでございます。28 年度は計 25 回の観測がありました。中段の経年変化ですが 28 年度は前年度と比較すると 7 回減少しておりました。30 ページにはこの詳細を掲載しておりますが全て自衛隊機によるものでございました。

最後に 31 ページをお願いいたします。航空機騒音による苦情ですが、平成 28 年度は、自衛隊機によるものが 1 件でございました。

私からの説明は以上でございます。

ウ 空港融雪剤に係る平成 28 年度美沢川水質測定結果について

◇環境保全課

環境保全課の下間と申します。よろしくをお願いいたします。

私からは「資料 3」の平成 28 年度美沢川周辺の水質測定結果をご説明いたします。座って説明させていただきます。

まず、「年間定期測定」の表でございますが、平成 28 年度に苫小牧市が実施した水質測定結果をまとめており、採水地点の番号は、3 ページにあります地図に対応させております。

測定項目は 5 項目ございますが、このうち、空港で使用されている融雪剤などの影響を受けやすい BOD に着目してご説明いたします。

まず、美沢川の BOD については、「国道 36 号下」では最高値が 1.1 となっております。

次に、美々川についてですが、③の「御前水橋」では最高値 1.3、④の「合流点下流」では 0.6、⑤の「植苗橋」では 1.2 となっており、いずれも環境基準値の 2.0 以下で推移しております。

次に、「新千歳空港における防除雪氷剤・融雪剤の年間使用量の推移」の表でございますが、防除雪氷剤については、タイプ 1、タイプ 4 合計で 1,512 k l が平成 28 年度の使用量となっております。

また、融雪剤に関しては、244,100kg となっており、前年よりも増加しております。理由としまして、「28 年度は大雪が相次ぎ、積雪量が前年に比べて大幅に増えたことによる」ということで新千歳空港事務所より伺っております。

今後、空港内の雪はターミナルビルの冷熱として利用された後、調整池から放流されますが、放流前に新千歳空港事務所から BOD 値の報告を受け、値が 5.0 より下のことを確認してから、放流することとしております。

放流後に市でも河川の水質測定をするなどの確認を行っております。今後も新千歳空港事務所と連携を取りながら、監視を続けていきたいと考えております。

2 ページ目をお願いいたします。こちらの表は、昨年 4 月から 10 月までの融雪期に行った、水質測定結果をまとめたものでございます。調整池から放流された期間は、表の枠外、右上に記載しております。

表の右側にカッコ書きで「注 1」と記載があるデータは市で分析した結果であり、それ以外は新千歳空港事務所です実施した結果でございます。

BOD につきましては、いずれの地点でも環境基準値の 2.0 を下回る数値となっておりますが、今後も継続的に注視していきたいと考えております。

水質に関する資料につきましては、昨年と同様、要望活動時の手持ち資料として直近の測定結果と置き換えまして、お渡ししたいと考えております。私からは以上です。

エ 防衛局関係の助成事業実施状況について

◇空港政策課

続いて、報告事項エ「防衛局関係の助成事業実施状況」についてご説明いたします。

資料 4 の 1 ページ目をご覧ください。こちらは再編交付金とは別の物ですので、念のため申し添えさせていただきます。それでは、太枠で囲っている部分でございますが、平成 29 年度の事業について上から順にご説明いたします。

まず、第 3 条の防音工事助成でございます。1 の学校ですが、29 年度は「植苗・沼ノ端・勇払小中学校防音事業関連維持費補助金」、377 万 8 千円でございますが、こちらは各小中学校の暖房や空調設備の電気料相当分の補助金となっております。

次に 2 の福祉施設でございますが、29 年度は予定されていないと北海道防衛局より伺っております。

次に第 4 条につきましては、一般住宅の防音工事でございますが、こちらのはちほど 3 ページでご説明いたします。

次に第 8 条の民生安定施設補助金につきましては、29 年度の予定はございません。

次に第 9 条の特定防衛施設周辺整備調整交付金でございます。2 ページ目をご覧ください。平成 28 年度の追加実施事業につきまして、28 年 6 月の本協議会では、①の美々遠浅線防雪柵設置

事業から⑥の大気汚染監視システム更新まで実施することで報告していましたが、28年11月17日に北海道防衛局より調整交付金の二次交付の通知があり、見込みよりも約350万円上回ったところでございます。

この二次交付分に対する追加事業につきましては、28年度の太枠で囲っている部分の⑦「災害用備蓄品購入」の事業を実施させていただいたところでございます。

次に、平成29年度の部分をご覧ください。①の美々遠浅線防雪柵設置事業から⑥の災害用備蓄品購入までの6事業、交付金額で1億1千550万円を予定しております。

各事業の事業費及び交付金の額につきましては、記載のとおりですが、今後変更になることもございますのでご了承願います。

次に3ページ目をご覧ください。第4条の「一般住宅の防音工事」でございます。こちらは一般住宅の住宅防音工事実績になりますが、28年度の住宅防音工事は0件、機能復旧工事につきましては、空調機器が23世帯、防音建具が46世帯の実施と北海道防衛局から伺っております。以上で資料4の説明を終らせていただきます。

オ 他基地における訓練移転実施状況について

◇空港政策課

続きまして、報告事項オ「他基地における訓練移転実施状況」につきましてご説明いたします。資料5をご覧ください。

1ページから4ページは、「米軍再編に係る各基地の訓練移転経過」でございます。4ページ目ですが、28年度は全体で7回の訓練移転が実施され、うち国内では千歳を含む2回、グアムへの訓練移転が5回実施されております。平成29年度はこれまでグアムで1回実施されています。

次に5ページから7ページ目にかけては、前回11月28日の本協議会以降に実施されました他基地における訓練移転に関する訓練計画概要でございます。以下内容につきまして順次ご説明いたします。

まず5ページ目でございますが、平成29年2月8日付けで防衛省より「米軍再編に係る嘉手納飛行場及び岩国飛行場からグアム等への訓練移転に関する訓練計画概要」について通知されたものでございます。内容につきましては、嘉手納の第18航空団及び岩国の第12海兵航空群がグアム島のアンダーセン空軍基地などで訓練を行なうというもので、詳細につきましては記載のとおりでございます。

次に6ページでございますが、こちらは同じく平成29年2月8日付けで、防衛省より「米軍再編に係る三沢飛行場からグアム等への訓練移転に関する訓練計画概要」について通知されたものでございます。内容につきましては、三沢の第35戦闘航空団等がグアム島のアンダーセン空軍基地などで訓練を行なうもので、詳細につきましては記載のとおりでございます。

次に7ページでございますが、こちらは平成29年4月12日付けで防衛省より「米軍再編に係る嘉手納飛行場からグアム等への訓練移転に関する訓練計画概要」について通知されたものでございます。内容につきましては、嘉手納の第18航空団がグアム島のアンダーセン空軍基地などで訓練を行なうもので、詳細につきましては記載のとおりでございます。

なお、平成28年度のこれらグアムなどでの訓練結果につきましては、事故やトラブルなど無く、無事終了したとのことで北海道防衛局より連絡を受けております。

カ 平成 29 年度における米軍再編に係る訓練移転について

◇空港政策課

続きまして、報告事項カ「平成 29 年度における米軍再編に係る訓練移転」についてご説明いたします。資料 6 をご覧願います。こちらは、「平成 29 年度における米軍再編に係る訓練移転」につきまして、平成 29 年 3 月 29 日付で防衛省より通知されたものでございます。

内容といたしましては、当該訓練移転は日米の相互運用性の向上及び嘉手納をはじめとする米軍飛行場周辺の騒音軽減を目的として実施されるものであり、日米両政府の緊密な協力関係により実現するものとし、平成 29 年度につきましては、10 回程度の実施を目標に計画する予定となっております。

また、個々の訓練計画概要につきましては、決まり次第、関係自治体に連絡が入ることになっております。以上で資料 6 の説明を終わります。

キ 平成 28 年度（下期）航空機の部品落下事案について

◇空港政策課

続きまして、報告事項のキ「平成 28 年度（下期）航空機の部品落下事案」についてご説明いたします。資料 7 をご覧願います。

こちらは、平成 29 年 4 月 18 日付けで千歳基地より通知されたものでございます。

次の 2 ページ目をご覧ください。下期分の千歳基地における航空機の部品落下事案は 3 件ございました。

1 件目の事案につきましては、発生日は「平成 29 年 2 月 17 日」、機種は「F-15J」で、落下部品の部位等につきましては、3 ページ目にイラストと写真を載せておりますが、胴体下部に取り付けられている配線のコネクターキャップでございます。直径約 2 cm、長さ約 1 cm、重さ約 9 g のアルミ製でございます。

2 件目の事案につきましては、発生日は「平成 29 年 2 月 23 日」、機種は、「F-15J」で、落下部品の部位等につきましては、4 ページ目をご覧ください。

「アレスティング・フック・フェアリング・サポート・ボルト」でございます。「アレスティング・フック」とは、緊急時に短距離で停止させるためのフックのことで、機体の後方下部に取り付けられているものでございます。落下物はそのフックに取り付けられているボルトで、長さ約 2 cm、頭部分直径約 1.3 cm、軸部分直径約 0.7 cm、重さ 6.5 g のステンレス製でございます。

3 件目の事案につきましては、発生日は「平成 29 年 3 月 1 日」、機種は「T-4」で、落下部品の部位等につきましては、5 ページ目をご覧ください。右エンジンの排気口部分に取り付けられているスクリー構成品でございます。

スクリー部分：頭部分直径約 0.6 cm、軸部分直径約 0.3 cm、長さ約 0.8 cm、重さ約 0.3 g

ナット部分：直径約 1.1 cm、厚さ約 0.3 cm、重さ約 0.2 g

ワッシャ部分：直径約 1.1 cm、厚さ約 0.2 cm、重さ約 0.2 g

となっており、スクリー部分がスチール製、ナット部分及びワッシャ部分はアルミ製でございます。

第 2 航空団の説明によりますと、1 件目と 2 件目の「F-15J」については、千歳飛行場から日本海訓練区域を飛行中に落下し、3 件目の「T-4」については、千歳飛行場から太平洋訓練

空域の飛行中に落下したという報告でしたが、着陸後の整備員による点検で欠損紛失したことが判明したということで、落下箇所は特定できない状況であるとのことでございました。3件とも現在のところ被害の報告はないとのことでございました。資料7の説明は以上でございます。

ク 平成28年度再編交付金事業結果について

◇空港政策課

続きまして、報告事項のク、平成28年度再編交付金事業内容につきまして、ご説明させていただきます。

それでは、資料8をご覧ください。こちらは、平成28年度の再編交付金事業の実施結果でございます。植苗ファミリー公園整備事業では、遊具の変更による300万円の増額、新栄公園照明整備事業では、既存の支柱や埋設ケーブル等の再使用が可能であったことから、経費削減となり、550万円の減額、また、沼ノ端コミセン体育館屋根改修事業については、再編交付金では改修内容に制限があったことから市費で実施したことにより、270万円の減額、そのほか、勇払公民館照明器具他改修工事や緑ヶ丘公園庭球場備品整備事業の入札差金など、各事業の差金を整理し、市立病院医療機器整備事業で調整させていただいております。

市立病院医療機器整備事業では、スリットランプ、陽圧式人工呼吸器、シリンジポンプを購入しており、合わせて620万円を増額し使わせていただいております。

なお、「共通」の割合につきましては、以前ご指摘を受けておりますので、十分にバランスに配慮して進めており、結果として12%を共通に充てさせていただいております。資料8の説明は以上でございます。

ケ 北海道における空港経営改革について

◇空港政策課

空港政策課の小堀です。私からは、報告事項ケ、北海道における空港経営改革についてご報告いたします。座ってご説明させていただきます。

資料9をご覧ください。こちらは、検討が進んでおります、北海道における空港経営改革について、昨年11月28日の本協議会以降における主な経過をお示したものでございます。

始めに、平成28年12月26日には、「北海道における空港運営戦略の推進に関する意見交換会」が開催され、北海道の担当副知事をはじめ、民間委託対象7空港の関係市町長が集まり、北海道発の提案の最終取りまとめについて意見交換会を行っております。

同日付で、この意見交換会において、本案を「北海道発の提案」の成案として国に提出することが確認されたことから、「北海道における空港運営戦略の推進」が、北海道から国土交通省へ提出されたところでございます。こちらにつきましては、後ほどご説明いたします。

次に、本年1月31日には、再度「北海道における空港運営戦略の推進に関する意見交換会」が開催され、民間委託対象7空港の関係市町長と北海道知事によりまして、民間委託に向けた今後の進め方などについて、意見交換会が行われたところでございます。

また、参考といたしまして、民間委託対象空港におけるシンポジウム及び現地視察等の開催日程をお示ししております。このシンポジウムや現地視察につきましては、特定目的会社、SPCへの応募を目指す企業等を対象に、空港基本施設や周辺環境等についての視察及び地元関係者と

の意見交換会などを通じて、7空港の全般的な理解を深めていただくことを目的として、7空港すべてにおいて開催しております。

次のページをご覧ください。新千歳空港につきましては、5月16日に、千歳市の北ガス文化ホールで「北海道における空港運営戦略推進シンポジウム—新千歳空港—」が開かれ、企業関係者や市民など約640名が参加されました。17日に開催されました「現地視察会」には運営委託に関心のある企業など110社200名が参加しております。

次のページをご覧ください。最後に北海道から国土交通省へ提出されました「北海道における空港運営戦略の推進」につきまして、ポイントとなる項目についてご説明いたします。

始めに、4ページをお開きください。4ページから5ページの上段にかけて記載されておりますとおり、北海道における空港運営の戦略的取組としましては、「インバウンドを中心とした来道者の大幅な増加」、「航空貨物取扱量の増加による輸出・移出の拡大」を目的として、国管理4空港に、道管理の女満別空港、市管理の旭川空港及び帯広空港を加えた7空港について、同一事業者による一括民間委託をめざすとともに、「乗降客数」、「来道外国人数」、「貨物取扱量」及び「道産食品輸出額」の4点について、一括民間委託に取り組む上での、北海道としての目標値が示されたところでございます。

次に、7ページの下段をご覧ください。空港運営の民間委託により期待される効果としましては、「路線誘致や空港運営の強化」、「就航を制約する要因の圧縮」、「地域とともに発展する空港」及び「空ビル等施設の戦略的な整備」の大きく4項目が掲げられております。

次の8ページの上段でございますが、一括民間委託の効果としては、これらに加えて同一事業者による複数空港の一体的運営を実現することにより、効果は一層確かなものとなり、蓄積されたノウハウが北海道全体で共有されることが期待されており、資料に記載のとおり、大きく5項目が掲げられております。

最後に、17ページをご覧ください。新千歳空港のめざす姿とさらなる発展に向けて必要な取組について、北の国際拠点空港化をめざす上での課題としましては、8項目が掲げられているところでございます。

市としましては、特に6番目の「地域との共生」が民間委託に当たって大変重要と考えており、北海道に対し、これまでの空港周辺地域に対する安全対策や環境整備のレベルを確保することが最低条件であることを、主張しているところでございます。

以上が資料の説明でございますが、今後の想定スケジュールとしましては、平成29年度から30年度にかけて民間委託に必要な手続や、国による審査を経て優先交渉権者を選定、基本協定の締結が行われ、最終的には2020年、平成32年度からの民間委託開始をめざして取組を進めていくと伺っております。私からは以上です。

◆会長

それでは、報告事項でアからケまで一瀉千里で説明いただきましたが、このことにつきまして皆様からご意見ご質問ございましたらお受けいたします。

米軍の訓練ございましたけれども、私も千歳のブリーフィングに行っていました。議員の方々も沢山いらしてございましたけれども暮にかかって非常に切羽詰っていたときでございました。副市長も行ってっております。何かございましたら、よろしいでしょうか。

はい、C委員さん。

◆C委員

それでは報告事項ですけれども、何点かあるのです。

まず1点目、まずはこの遅延便が何で多いのかということです。天気だけではないのかなとも思います。特にエアラインのJALがいつもよりかなり多いということは、やはり運営にも問題があるのかなと思っています。今年度は423の遅延便ですから、27年は354ですからかなり多いのかなと思います。

もう一つは、基準の中に入っているから良いのですけれども、騒音対策ですから関係ないので、この水質測定ですか、この融雪剤です。資料3の一番下ですね。倍以上も融雪剤を撒いて、旧美沢川には基準内ではあるのですけれども、私だけが言っているのかもしれませんが、世界の空港で、これだけの冬の空港で、沈砂池方式でやっている空港は新千歳しかないのではないかと思います。いずれ汲み取ってリサイクルをするような形に持っていかないと、この量をどういう形で撒いても使った量は使った量ですから。沈砂池のところ、1度見させていただきましたけれども、いっぺんには放流していないのはわかりますけれども、決して影響が無いなんていうことはありえないと思います。ですから、やはりその下に美沢川、美々川、ウトナイ湖とラムサール条約の指定にある地域が今で言う安全・安心ということには全くならないのかなと思っています。だから地元市としても何らかの行動はおこされたほうが良いのかなと思います。私だけが言うのであれですけれど。

最後に部品落下です。今年3件です。小さいボルトとはいえ飛行機についていて不具合なボルトはないのかなと素人判断で思うのですけれども、こういう部品が上を飛んでいる飛行機から落ちているのでは安全な戦闘機ではないのかなという感じでおります。これもやはり2空に強く整備管理をお願いするよう要望されたら良いのかなと思います。今年に続けて3件ですからちょっと多いのかなと思って意見を述べさせていただきました。以上です。

◆会長

それでは事務局、3点ほど。

◇環境保全課

まず、融雪剤の関係なのですけれどもご説明したとおり、増加につきましては気象の関係で降雪量はあまり前年度と変わらないのですけれども、積雪量が前年度の1.8倍になったということで使用量も増えているということで聞いております。気象庁のHPで確認しましてもそういったことになっていることは確認しております。

融雪剤が増えて回収するべきではないか、というところですが、この議論につきましては平成17年くらいからリサイクルしたほうが良いのではないかという話は出ていたと思うのですが、その部分については融雪剤というよりは防除雪氷剤のほうがだとは思いますが、多い年も少ない年もあると思うのですけれど、私たちはその流される水が高い濃度で流されないことを国と連携とりながら、市も確認しながら見守っていければなというふうに考えております。

◇空港政策課

それでは、遅延便がなぜ多かったかというご質問でございます。今回は12月、1月に大雪が降りまして、その際に遅延した便が多かったということになります。後ほど協議事項のなかでも答えようと思いましたが、今回の要望のなかでJAL、それから2便の遅延が非常に多かったエア・ドゥ、ここに対して要望活動のときに、なぜ多かったのかという意見交換のほうを実施

したいと考えております。今回、12月の大雪のときに多かった原因としましては、エアラインが滑走路上に駐機したため滑走路に離陸できなかった着陸できなかったというのが第1の要因と共に二次交通も麻痺してしまいまして、従業員の方がなかなか空港に来られなかったというのも二次的な原因だということをお聞きしております。これらの従業員の扱いですとか各関係機関の連絡を密にしようということは、今検討しております今年冬につきましては、そのへんの対策をきっちり施すということをお聞きしておりますので、エアラインのほうは要望の時に伺って意見交換はしたいというふうに考えております。

それから2点目の部品落下が多かったという点につきましては、これは平成28年度上期の部品落下も4件、今回が下期で3件ということで地域にお住まいの方にとっては、今回は小さな部品ですけれども、もしこれが大きな部品だった場合には大事故に繋がるということで私たちも大変危惧しております。今回このようなご意見もございましたので、再度第2航空団のほうにしっかり点検・整備するようにもう一度伝えたいというふうに考えておりますのでよろしくお願いいたします。以上です。

◆**会長**

C委員さん、いかがですか。はい、どうぞ。

◆**C委員**

最後にしたいと思いますけど、この融雪剤の認識は全然違っていると思いますよ。なぜこういうことを言うかとですね、この下の川は、今湿原保存の川になっているのです。それで環境変化が酷くて、この頃の実態はこの数字だけですけれども魚の尾が曲がったとかそういうのが過去にはあるわけです。これだけの融雪剤を撒いて今度空港の陳情に行くときあまり見せないでしょうけど、滑走路の沈砂池のところ見たらいいと思いますよ。この冬の融雪剤もそうですけれど、夏のゲリラ豪雨も一気にあそこの沈砂池に水が来るように造られている空港なのです。全部あそこに流れるように。ですから、こういうことをずっと、これから便数も多くなっていく、これを放置していたら数値は良いけれども、やはり影響は必ず出てきますよ。これはもう環境のことについて沈砂池方式で、千歳のエリアの沈砂池でいくかもしれないけれども、必ず影響は出てくると思います。数字だけ言っているだけでは済まなくなると思います、もう少し考えられて、気象変化と言われれば全てが収まるというわけではありませんので、やはり使い方をもう少し考えてもらうとか申し入れはしたほうが良いかなとは思っています。以上です。

◆**会長**

このことについては、D委員さん、どうぞ。

◆**D委員**

今の関連で言わせていただきますけれども、苫小牧の担当の方、今の融雪剤が集まって川に流れている場所をご覧になっていますか。なっているか、なっていないかで手を上げてください。

◇**環境保全課**

見えています。

◆**D委員**

あの状態で良いと思っておりますか、あの造り方で。私は前から言っているのだけれどあれは苫小牧の担当されているほうがあまりに優しすぎる。他所の空港は全部汲取り式なのです。あんな川に向けて流れるような状態には造っていません。あそこはやはり今こういうふうに言葉で出た

以上は改善させるように苫小牧市にはがんばって欲しい。あれは美々川に対してえらい影響しています、あの造り方は。大雨なんか降ったらみんな川に流れる造り方、全部あそこの川へ向けて集めているから、そこを再度確認して下さい、私はちゃんと見ていますから。

それと部品落下、この部品はどういうことで確認したのですか。こんなに小さなものを拾ってみたのですか。ただ機体から外れていたから落下したという報告なのですか。こんなに小さいものを地べたでよく分かったものだなと思って、その報告内容を確認していますか、私は不思議に思う。以上です。

◆**会長**

はい、事務局。2点程追加で。

◇**空港政策課**

はじめに融雪剤の沈砂式の関係でございますけれども、先ほど担当のほうからも説明しましたけど、現在は沈砂式ということでご心配のとおり大雨とかが降った際に関しては、そのまま出してしまうということもございますので、後ほど説明しようと思いましたが、今回要望の際には、その調整池の視察も是非やりたいと思いますし、要望のときにはそのやり方に関しても意見交換したいと思います。その前に事前に事務局として新千歳空港事務所と協議させてもらって、どういうやり方ができるのかということは、お話していきたいというふうに思っています。

それから2点目の部品落下につきましては、これは飛行後の整備・点検の際に部品が紛失しているという事実がわかりました。

◆**D委員**

そうでしょう。そうでなかったら、あんなものが落下したかなんて見てもわからないなど。だからそれは整備の仕方が悪い。だから落ちる。緩んでいたから落ちたのでしょうか。だから正規の締め方をしていない。それはやはりそんなものが頭にでも落ちたら大変なものだから、もっと厳重に2空団に申し出て欲しい。これは非常に問題になったと大きく報道してほしい。

◇**空港政策課**

はい、私のほうから第2航空団のほうにもう一度、委員からご指摘あった点を含めてしっかり要望したいと思います。

◆**D委員**

言わなきゃわからない、そういうのが事故だから。

◆**会長**

はい、それでは、沈砂池の関係は空港に視察に行つて意見交換するというところで。

はい、E委員さん。

◆**E委員**

今まで気が付かなかったのかどうかかわからないのですが、沼ノ端局が苫小牧市の観測測定局、沼ノ端局には北海道防衛局と苫小牧市が同じ場所につけていますよね、これは機械を2つ並べているのですか、それでも1つの機械で数字を捉えているのですか。

◇**環境保全課**

市の測定局分は市の測定局分として機械がありまして、北海道防衛局はまた別の機械を、場所を貸しているような形で別に機械を置いております。

◆E委員

今日の資料のなかの7ページを見ると、同じ数字だから良いのですが、機械ですから同じ数字拾うのに何で同じ所に2機あるのですか、それぞれそういうことだと思いますのでこれをも少し何か良い方法に変えたほうが良いような気がします。違う数字でないわけでしょう、でたらおかしいわけでしょう。そういうことです。

◆会長

この間、私も現地にたまたま行ったら同じところでやっていました。

◆E委員

沼ノ端。

◆会長

そうです。

◆E委員

いつから。

◇環境保全課

昔からずっと同じ場所です。

◆E委員

だからずっとあれなの。

◇環境保全課

ずっとやっています。

◆E委員

それもう少し考えよう、同じところに2つあっても。以上です。

◆会長

どうして2つになったの。

◇環境保全課

北海道防衛局は国の測定局として自分達の扱えるデータを自分たちで取っているということになると思います。市は市で北海道と手分けしてやっているのですけれども、北海道と市とはデータのやり取りをしているのですけれども、国とのデータのやり取りというのはないものですから、それで別々に計っているという形になっています。

◆会長

国が検証しているのだね。

◆E委員

苫小牧市の数字、信用されていないということ。はい、わかりました。

(2) 協議事項

ア 平成29年度要望活動(案)について

◆会長

あとごさいませんでしたら、次に進みますがよろしいでしょうか。

それではご了解いただきまして、(2)の協議事項に移らせていただきます。アの「平成29年度要望活動(案)」につきましてご説明をお願いします。

◇空港政策課

私からは、協議事項のア「平成 29 年度要望活動（案）」につきまして、ご説明いたします。

資料 10 の 1 ページ目をご覧ください。始めに、1 の要望日程についてでございますが、時期につきましては、例年どおり、9 月頃での実施を考えており、千歳・札幌へは日帰り、東京へは 1 泊 2 日を予定しております。なお、訓練移転や相手先の都合等によっては、日程が前後する場合もございますので、その際には、会長・副会長にご相談してまいりたいと考えております。

次に、2 の要望活動者でございますが、千歳・札幌につきましては委員が 11 名、事務局が 5 名、また、東京につきましては委員が 5 名、事務局が 4 名を予定しております。なお、人数につきましては、予算の都合上の最大数とご理解願います。

また、要望活動の参加者でございますが、時期が決まり次第、皆様のご都合もございますので、事務局から各委員にご連絡をして調整させていただきます。

次に、3 の要望先でございますが、国会議員につきましては、昨年と同じく、地元国会議員自民党地元選出の堀井学衆議院議員、橋本聖子参議院議員を予定しております。

次に各省庁への要望先であります。国土交通省関係につきましては、大臣・副大臣・政務官の政務三役をはじめ、航空局と東京航空局、また、出先機関としましては、新千歳空港事務所を予定しております。防衛省関係につきましては、同じく政務三役をはじめ、防衛政策局、地方協力局、そして航空幕僚監部、また、出先機関としましては、航空自衛隊千歳基地と北海道防衛局を予定しております。

次に、4 の要望書でございますが、2 ページから 3 ページが国土交通省に対するもの、4 ページから 6 ページまでが防衛省に対するものとなっております。

まず、国交省関連につきましては、2 ページ、3 ページをご覧ください。「航空機騒音の一層の軽減」に関する要望項目は 4 点でございます。

一つ目は「着陸時における住宅街での飛行高度を遵守すること並びに離陸時における通常の飛行コースを遵守すること。また、離陸時の飛行コースとして住宅街を避けるコースを設定すること」

二つ目は「運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること。特に、深夜の静穏保持の観点から、遅延便等の一層の抑制に向け、航空会社への指導強化を行なうこと」

三つ目は「低騒音機種への切替えを促進すること」

四つ目は「外国貨物機の騒音軽減について引き続き指導を行うこと」の 4 項目でございます。

次に、防衛省関連につきましては、4 ページから 5 ページをご覧ください。「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」に関する要望項目は 5 点でございます。

一つ目は「市街地上空での低空飛行を避けること」

二つ目は「通常訓練の離陸着陸コースを遵守すること」

三つ目は「運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること」

四つ目は「訓練・演習における土日、祝日の飛行を避けること」

五つ目は「航空機の点検整備及び安全に対する隊員教育を徹底し、事故防止に努めること」の 5 項目でございます。

次に 6 ページをご覧ください。「防音対策事業」に関する要望項目につきましては、「住宅防音助成については、対象区域を 70W まで拡大するとともに、全室を対象とし、告示後の新築住宅に

についても対象とすること」を要望項目としております。

なお、昨年度まで要望事項にありました「再編交付金」につきましては、平成 29 年度から新たに「再編関連訓練移転等交付金」が施行されたことから、29 年度の要望項目には入れておりません。以上が、平成 29 年度の要望活動についてでございます。

なお、要望先・要望項目につきましては、防衛省に対する再編交付金の項目以外は、昨年と同じ内容となっておりますが、これから要望活動までの間に状況等の変化があれば、会長・副会長と相談の上、要望項目の追加、修正等の対応をまいりたいと考えております。

また、先ほどご質問もございましたとおり、運航自粛時間飛行、いわゆる遅延便数については、昨年度は遅延便数が減少したことから要望等を行っておりませんでした。28 年度の遅延便が 423 便となり、27 年度の 354 便から 69 便増加したことから、今年度 29 年度につきましては、遅延便が多かった JAL 及び ADO に対して、遅延便が多かった原因や対策などについて、意見交換を実施したいと考えております。

併せて、昨年度の協議会において先ほどもご意見がありましたとおり「調整池の見学」につきましては、昨年の要望時には見学できなかったことでもありますので、今年度 29 年度の要望時に新千歳空港事務所と調整し、調整池の見学を是非行いたいというふうに考えております。

以上、簡単ではございますが、29 年度の要望活動案でございます。よろしくお願いたします。

◆会長

それでは、29 年度の要望活動案につきまして説明いただきましたが、ご質問、ご意見をお受けします。いかがですか。

内容につきましては、説明のとおりだいたい同じような内容でございますけれども、やはり担当部局の人たちが代わっておりますから、いつも同じようなことであっても言ってお話するのとならないのでは、大分違いますのでご協力のほどお願いいたします。

イ 平成 29 年度再編関連訓練移転等交付金予定事業（案）について

◆会長

それでは、この案につきましてよろしいでしょうか。それではよろしいということでございますので、ご理解いただきました。それでは続きまして、イの「平成 29 年度再編関連訓練移転等交付金予定事業（案）」につきましてご説明をお願いいたします。

◇空港政策課

協議事項イの、平成 29 年度再編関連訓練移転等交付金予定事業（案）につきまして、私から説明させていただきます。

それでは、資料 11 をご覧願います。こちらは、新たに設けられた、平成 29 年度の再編関連訓練移転等交付金の概要でございます。

1 の趣旨・目的、2 の対象市町村、3 の対象事業については、28 年度までの再編交付金と同様でございますので、省略させていただきます。

4 の交付額につきましては、「毎年度の予算の範囲内で防衛大臣が定める」となっておりまして、今までの再編交付金とは違い、新年度になってから交付額が通知されることになると考えられます。29 年度につきましては、4 月 20 日に通知があり、2 億 2 千 317 万 5 千円の交付額となっております。

5の交付期間及び6の施行期日につきましては、平成38年度までの10年間となっており、平成29年4月1日施行しております。

2ページ目をご覧ください。平成29年度の再編関連訓練移転等交付金の予定事業(案)でございます。

はじめに、植苗・美沢地区の、「植苗地区テレビ共同受信施設増設事業」でございます。この事業につきましては、植苗・美沢地区における一部の世帯では、航空機による電波障害防止対策としてテレビ共同受信施設を設置しておりますが、対象区域に近接する地域において、テレビの電波レベルが低いことから、テレビ共同受信施設の増設を考えており、交付金は1千271万円となっております。

同じく、植苗・美沢地区で、「植苗ポンプ場非常用発電機設置事業」でございます。これは、植苗地区の一部の給水については、植苗ポンプ場で水圧を確保しておりますが、停電時にはポンプ施設が停止し、水圧が低下するため、必要な水量を確保できなくなる恐れがあります。そこで、停電時においてもポンプ施設を稼働させるため、非常用発電機を設置し、安定した飲料水及び消火栓等の確保を図る事業でございます。交付金は2千700万円となっております。

なお、本事業については、非常用発電機の納期が8ヶ月必要なこと、また、本交付金を利用する防衛の様々な条件等について、現在調整中でありますことから、本事業につきましては、実施できない可能性もございますので、ご了承願います。

次に、沼ノ端地区の「沼ノ端スケートセンター除湿機設置事業」でございます。沼ノ端スケートセンターにつきましては、アイスホッケー競技規定が変更されたことにより、リンクを囲うボード及び保護ガラスの高さを延長しております。これにより、除湿機の効果が弱まり、リンクに霧がかかる状態となっていることから、新たな除湿機を購入し、効果的に機能させるための整備事業を計画しております。交付金は1千175万円となっております。

同じく沼ノ端地区で、「沼ノ端スポーツセンタートレーニング器具設置事業」でございます。これは、沼ノ端地区の人口増による、トレーニング機器の不足によるもので、機器の更新及び増設を検討しております。交付金は612万円となっております。

次に、三地区共通の「小中学校図書整備事業」でございます。こちらにつきましては、平成28年度と同様の事業でございます。三地区の小中学校の図書及び図書棚などの購入事業となっており、交付金は1千万円となっております。

同じく三地区共通の「除雪等車両整備事業」でございます。これは、三地区で活用する凍結防止剤散布用の老朽化した散水車の更新を考えております。交付金は、3千330万円となっております。

次に、共通の「保健センター医療機器整備事業」でございます。こちらにつきましては、保健センターにおける胃がん検診に使用する「内視鏡装置一式」の購入でございます。現在、保健センターにおける胃がん検診はバリウム検査となっておりますが、購入により、内視鏡による検査も可能となり、がんの発見率が飛躍的に高くなることから、内視鏡装置一式の購入を考えております。交付金は1千567万円となっております。

以上が平成29年度再編関連訓練移転等交付金における事業案でございます。合計1億1千655万円となっております。残りの約1億1千万円につきましては、航路下地区の方々にとって、有効的な活用となる事業を考えており、早急に検討してまいります。

なお、残りの事業につきましては、次回予定している11月頃の本協議会で提案し、承認を得てから予算計上することになります。工事工期や納期にかかる事業につきましては、会長、副会長の承認をいただき、先に予算計上させていただくこともございますので、ご了承願います。

私からは以上でございます。

◆会長

それでは、イの平成29年度の交付金予定事業につきましてご説明いただきましたが、いかがでしょうか、ご質問お受けいたします。はい、F委員さん。

◆F委員

それでは航路下の植苗ですけれど、学校が非常に雨漏りしているのです。旧校舎は42年経過し、雨漏りと同時に壁もつたっている旧体育館もそうなのですけれども、そういう状況になっています。なんとかこれをしてあげたいなと、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それと今回10年間この再編交付金がつくのですけれど、今までは10年間で17億程をだいたい均等にきていたのですが、その年その年で決まるということであれば、なかなかこの予算措置、今回2億もきましたけれども、それを会長、副会長とで協議させていただいても、業者に発注して物が無かったり、年度内に果たしてこれは終るのかなと思ひて考へていたのです。何とかこの予算を事前にわからないものかなと思ひていたのです。前のタイムスケジュールからいくと、12月くらいに翌年の提案をいただいて、審議会にかけるというスケジュールだったのかなと思ひのですけれど、5月中過ぎにこの協議会をやつて、これからこのポンプもあるのかなとかということですから、非常に交付金のお金をいただいても有効に、余計なお世話ですけれども使い勝手に大変苦勞するのかなと思ひていました。

それともう一つ、下の三地区共同の散布剤ですけれども、散布車を買うということだと思ひのですけれど今年1台を買うのでしょうか。以上です。

◆会長

それでは、3点を事務局。

◇空港政策課

まず、学校の校舎及び体育館の雨漏りが多いというお話につきましては、事前にお聞きしておりましたので、教育委員会とお話をさせていただいております。教育委員会のほうでは雨漏りとか、すが漏りが今回酷かったということで、その都度応急処置をしているということで、現在は止まっております。また、校舎全体も42年経過して確か大規模改修も平成の一桁、6年くらいに改修を一回しているのですが、それ以降もう二十数年やっておりますので是非屋根だとか壁、それから校舎の中も直すような大規模な改修をやらないのかい、という話もさせていただきました。教育委員会では今の計画としては、平成34年、5年後に大規模改修する予定だというお話を伺っておりますが、せっかくこういう良い、再編関連訓練移転等交付金これもございますので、出来るだけ早くやりましょうということで検討してくださいという話をしておりますので、その回答を待っていただいて、出来るだけ早めに改修をさせたいなというふうには私たちが思っております。

それから2点目の予算が事前にわからないのかということに関しては、私たちが大変これは危惧しております、毎回この4月にお金がかかるということになれば6月補正ということで残り9ヶ月、工事期間もないですし、やり辛いなというふうには思っておりますが、北海道防衛局に

このへんを聞いたところ、今はほとんどこの情報を持っていないので、これから事前に予算がどのくらいだという目処くらい示せないのかという話はさせていただきますし、この時期に協議会にかけて6月補正というままでは、市役所の担当のほうも非常に大変なスケジュールになります。仮に予算額がわからないとしても私たちとしては、例年通り予算の見込み額で考えたうえ協議会は11月にかけて、予算が決まってからでないとかけられませんので、事前に協議をさせていただきとか、そのへんは少し工夫して、提案をして有効な活用は考えていきたいというふうに考えています。

それから3点目の散布車につきましては、これは1台の予算措置となりますので、この3,330万これで1台を更新するという形になります。以上です。

◆会長

はい、F委員さんどうですか、よろしいですか。それでは、Gさんどうぞ。

◆G委員

沼ノ端のスポーツセンターなのですが、プールです。当初9万人規模の施設で地域の人に喜ばれましたが実際、今15万人以上の方が利用をしております、それによってボイラーが2機付いておりますが、最盛期は60%の80何%ですから1機故障するとプール自身使えないような状態になります。それで先般、当初予定より耐用年数2年早めて改修するというような説明をいただきましたが、3年先になるのかな、その間に壊れたときにどうするのですかという質問をしたのですが、答えがきておりませんが、もし出来ることであれば植苗さんと一緒に市民の人が15万人も利用している施設でありますので、今年の予算でいくと2億に対して1億ですから半分位はまだこれから使える部分もあると思います。そういう中で、やはりせっかく沢山の人が利用してくれている施設ですので、出来たらそちらのほうも2年早めても3年先です。もう少し早めて、来年あたりでもしてくれないと本当にボイラー、空調含めて大変な状態になっておりますので検討をよろしくお願いします。

◆会長

事務局どうぞ。

◇空港政策課

沼ノ端スポーツセンターのボイラーの件に関しましては、担当しますスポーツ推進室と私も含めてお話をさせていただいて、ボイラーの耐用年数が1台あたり2万時間と言われていてそれが結構稼働が多いということで2年後、3年後の更新の計画は示させていただいています。今現在2台で稼働しているということで、もし壊れたらというお話なのですが現在2、3年後のボイラー更新を考えていますので、それまで壊れないように最善のメンテナンスを実施してしっかりプールがお休みになるということがないようにやりたいと思いますけれども、スポーツ課とも相談させていただきますが、元々スポーツセンターの建設にあたっては防衛省の補助をいただいております、今この再編交付金をまたそこに充てるということが、そもそもの設計がおかしかったという議論だとか、防衛ともお話をしてみないとわかりませんので、そのへんの話をしてみて検討はさせていただきたいと思います。

◆G委員

道の駅と一緒にスポーツセンターも色々意味ありの施設なので、そのへんを含めて良いほうによろしくお願ひしたいと思います。

◆**会長**

それでは、良いほうにお願いいたします。
あとはございますでしょうか。はい、H委員さん。

◆**H委員**

勇払地区なのですけれど、今のところ予定事業という形では1件も書いていないのですが、今ご検討されている事業とかありましたら、お聞かせ願いたいのですが。

◇**空港政策課**

今検討するというか、2、3年前から勇払地区の方からご相談いただいている施設として、勇武津資料館、ここは大分物が多くなってきて、そこに新しい倉庫だとかを造っていただけないかとか、その横に八王子千人隊のお墓と言っているのですか、そこのお墓の被せている屋根が傷んでいるとか、そういうお話もありますので、そのへんの改修も是非やりたいなと考えていますけど、色々関係者の方もおられるということなので、協議も必要かなと思っていますので、今年出来るかどうかわかりませんが、そのへんをやりたいと考えております。後は公園や道路についても十分やれる予算でございますので、そのへんも含めて検討したいと思います。

◆**会長**

よろしいですか。

◆**H委員**

是非お願いいたします。

◆**会長**

それでは、勇払地区の検討をよろしく願います。あと何か皆さんありましたら、お受けします。よろしいでしょうか。はい、I委員さん。

◆**I委員**

資料4の3ページの機能復旧工事、23件、46件とあるのですけれど、これは苫小牧だけの数なのですか。

◇**空港政策課**

そうです、苫小牧の件数になります。

8 その他

◆**会長**

よろしいでしょうか。それでは他にございましたらお受けいたしますがよろしいでしょうか。それではないようですので、「その他」につきまして事務局さん何かありましたら。

◇**空港政策課**

その他としましては、先ほども要望のところでご説明しましたとおり、要望活動は今年の9月くらいを予定しておりますので、よろしく願います。要望の時期が決まり次第、皆様のご都合もございますので、事務局から各委員のほうにご連絡をして調整をさせていただきますのでよろしく願います。事務局からは以上です。

◆**会長**

それでは事務局以外で、皆さまからその他でございましたらお受けしますが、ちょうど8時となりましたので、このへんで終了したいと思いますですがよろしいでしょうか。

それではよろしいということでございますので、予算もあと残りございますので、よろしくご検討のほどお願いいたします。

今日は大変お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございました。これをもちまして、騒音対策協議会を終了させていただきます。